

文章題テスト・説明文(5)

日 月 名前

★次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

スーパーやコンビニなどで買った食品に、賞味期限しょうみきげんが表示ひょうじされているのは知っていますね。では、賞味期限が切れたものは、どう処理しゅりをしているのでしょうか。

じつにもったいないことに、それは捨てすているのです。でも、それらは賞味期限が切れたからといって、すぐに悪くなってしまうものではないのです。先日、新聞に、スーパーマーケットに並ならべられたおにぎりは六時間を超こえたら、ほとんど捨ててしまうということが書かれていました。先進国でもっとも食料自給率りつひくが低く、外国に食べものの大半をゆだねている日本で、こんな無駄むだなことをしているのです。

4 いったいどれくらい捨てているかというと、賞味期限切れの食べもの、学校給食の残飯ざんぱん、家庭の残飯、観光地かんこうちの残飯、それから過剰農産物かじょうのうさんぶつ。なんとこれらを年間二〇〇万トンも捨てているのです。そのうち小売店から出る賞味期限切れや返品などの売れ残り食品のこは約六〇万トンです。

この六〇万トンを基準きじゆんに計算してみると、大人一人一日に五〇〇グラムを食べるとして、毎日三〇〇万人分も捨てていることになるそうです。こんな国はありません。世界でもっとも食料自給率の低い国なのに、裏側うらがわでは世界一食べものを捨てているのですから。なんとも恐ろしい民族みんぞくに見えるのは、私わたしだけでしょいか。

世界にはいま、ひと握りにぎの食べものがないばかりに空腹くうふくで死んでいく子どもたちが、何百万人もいます。

それなのに日本では、大人一人が一日に食べる量の、三〇〇万人分を毎日



捨てているのです。こんなことはほんとうにいけないことです。日本国民一人一人がこの現実げんじつをしっかりと把握はあくして、食べものを大切にしなければ、つぎの世代にはもうこの国はないかもしれません。

(小泉 武夫「いのちをはぐくむ農と食」より。一部省略)

(注) 賞味期限：おいしく食べられる期限。

食料自給率：国内で食べられるもののうち、国内の生産でまかなうことのできるわりあい。

過剰農産物：必要以上につくりすぎた農産物。

空腹：はらがへること。

把握：しっかりと理解りかいすること。

1 線「もの」は何を指していますか。文中の言葉を使って二字で書きなさい。



2 線「ゆだねている」の意味としてもっともふさわしいものを、ア～エから選えらんで、記号に○をつけなさい。

ア 注文している イ うばいっている

ウ さし出している エ まかせている

3 線「こんな無駄なこと」とありますが、どのようなことを「無駄」だと言っているのですか。もっともふさわしいものを、ア～エから選んで、記号に○をつけなさい。

ア まだ悪くなっていないものを捨てること

イ 食品が悪くなるまで売りつづけていること

ウ 食品を作りすぎて、たくさん売れ残ること

エ 国内で食料をほとんど作っていないこと



